農地地図情報利活用事例集（追加）

～　東日本大震災における利活用事例等　～

平成２３年７月

農 村 振 興 局 設 計 課
農地情報化支援対策

東日本大震災における利活用

東日本大震災における津波による被災状況把握（宮城県 ）

○　津波被災前後の空中写真を比較することで、現地踏査を行わずに津波浸水区域を特定。
○　これにより、農地の被災面積の集計を行うとともに、今後の除塩等の災害復旧の対象範囲の設定等を通じ、災害復旧事務の効率化に寄与。

津波浸水ライン

青は浸水農地

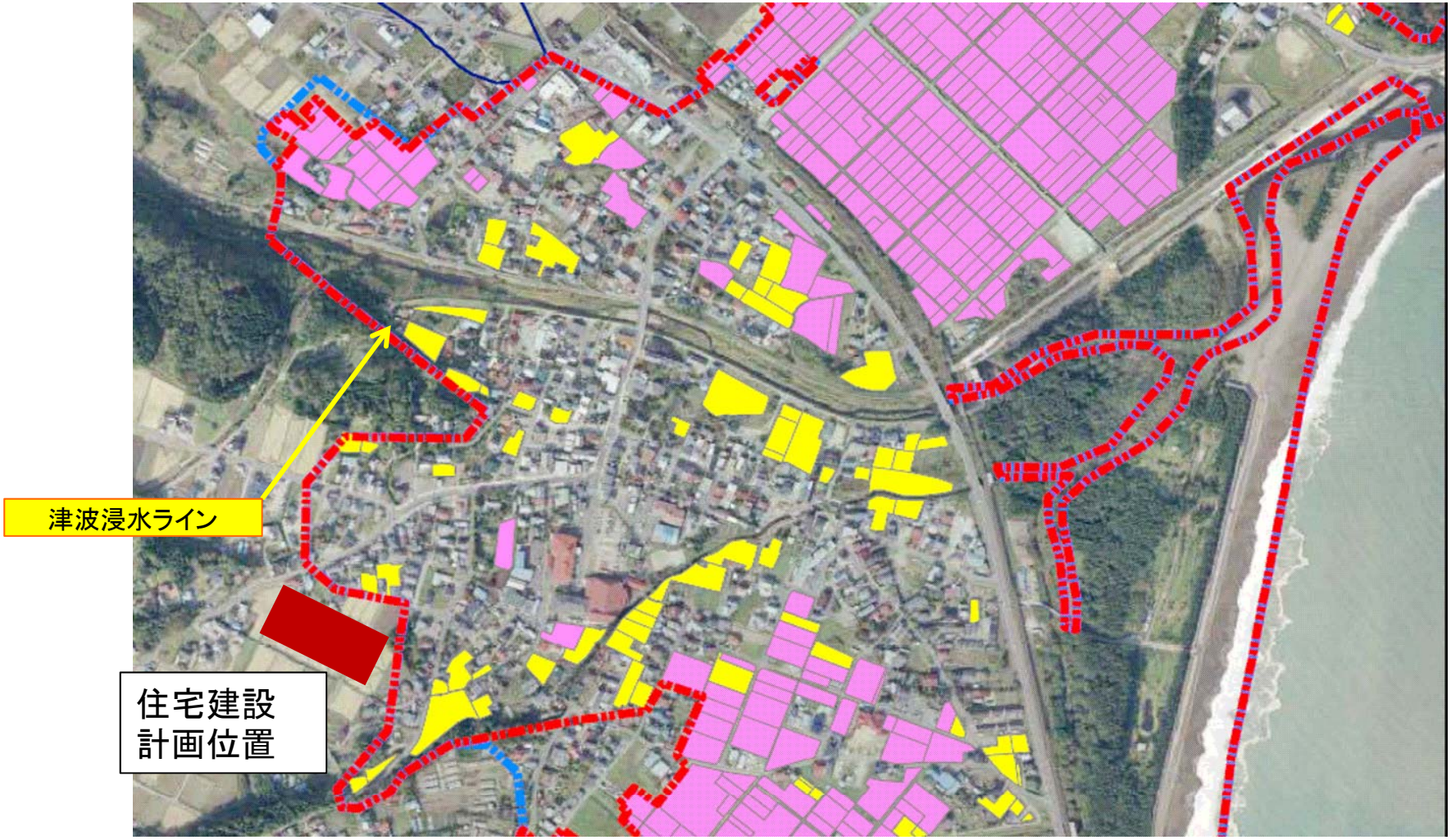
被災前

被災後

東日本大震災における利活用

生活再建に向けた災害公営住宅整備計画に活用（岩手県 ）

○ 野田村では村の住宅の１／４が被災。
○ 災害公営住宅の配置計画を策定するにあたり、農地の利用状況や浸水エリアを地図情報で確認し、作業を効率化。



東日本大震災における利活用

災害査定時における事務の大幅な簡素化

○　災害査定時における現地調査を省略し、地図情報によって復旧額を算定することにより、事務を大幅に簡素化。
（東日本大震災について～災害復旧の迅速化に向けた災害査定の簡素化について　農水省HP）

設計図書の大幅な簡素化　（GISを活用した計画概要書作成のイメージ）

農地・農業用施設の復旧に向けた支援として、水土里情報システム等のGISや航空写真の活用、標準断面方式の導入により設計図書の大幅な簡素化を図ります。

①水土里情報システム等による平面図作成

農地復旧平面図　　S=1:○○

堆積土砂撤去範囲
平均土砂厚　○cm
土砂堆積面積　○m2

②代表地点の実測による標準断面図の作成

復旧標準断面図

③標準断面図に基づいた積算

災害復旧事業計画概要書

従来の現地測量（平板・縦横断）による詳細な復旧計画図の作成やポール・リボンテープを使った被災状況写真等が不用となり、大幅に事務作業を削減できます。

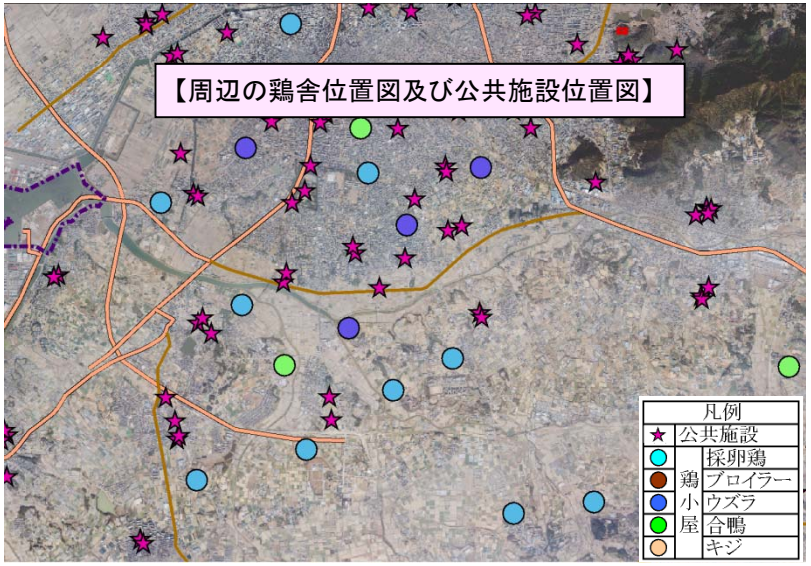
鳥インフルエンザ対策

鳥インフルエンザ発生時の迅速な対応に活用（愛知県　豊橋市）

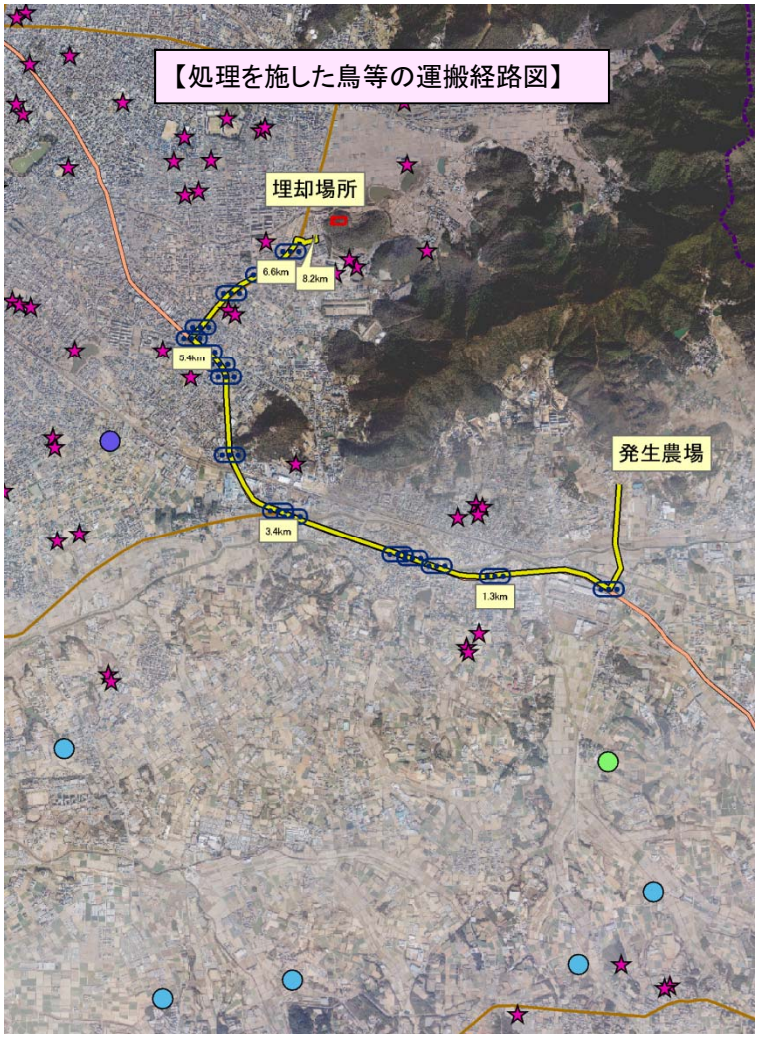
○　航空写真等に鶏舎の位置をプロットすることにより、鳥インフルエンザ発生時に県等の担当者が鶏舎周辺情報を的確に把握でき、迅速な初動対応が可能となる。

○　また、航空写真等から埋却予定地の検討が効率的に行えるとともに、埋却地への運搬経路を地図上に示すことにより、殺処分後の迅速な埋却処分が可能となる。

【埋却予定地及び現地確認用地図】



【周辺の鶏舎位置図及び公共施設位置図】



【処理を施した鳥等の運搬経路図】

※公共施設以外は架空の位置としている。

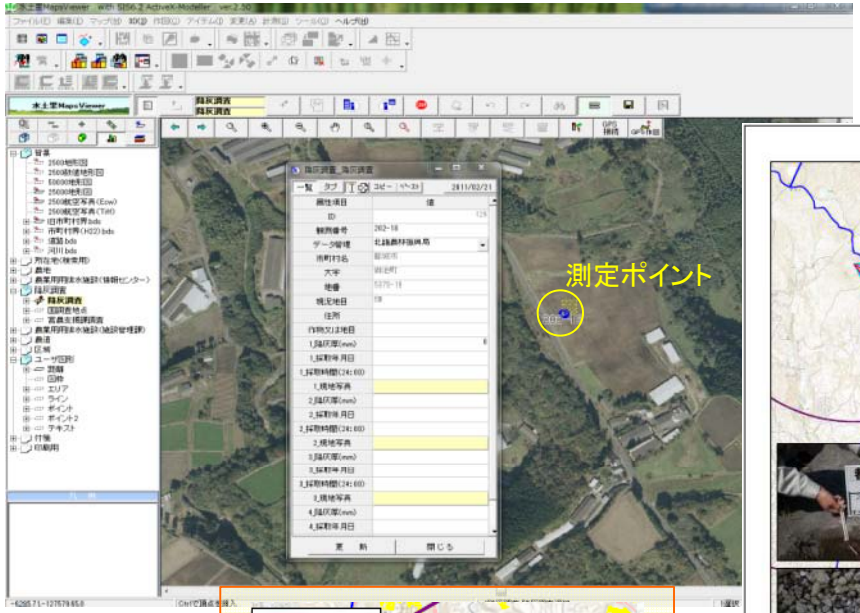
新燃岳噴火対応

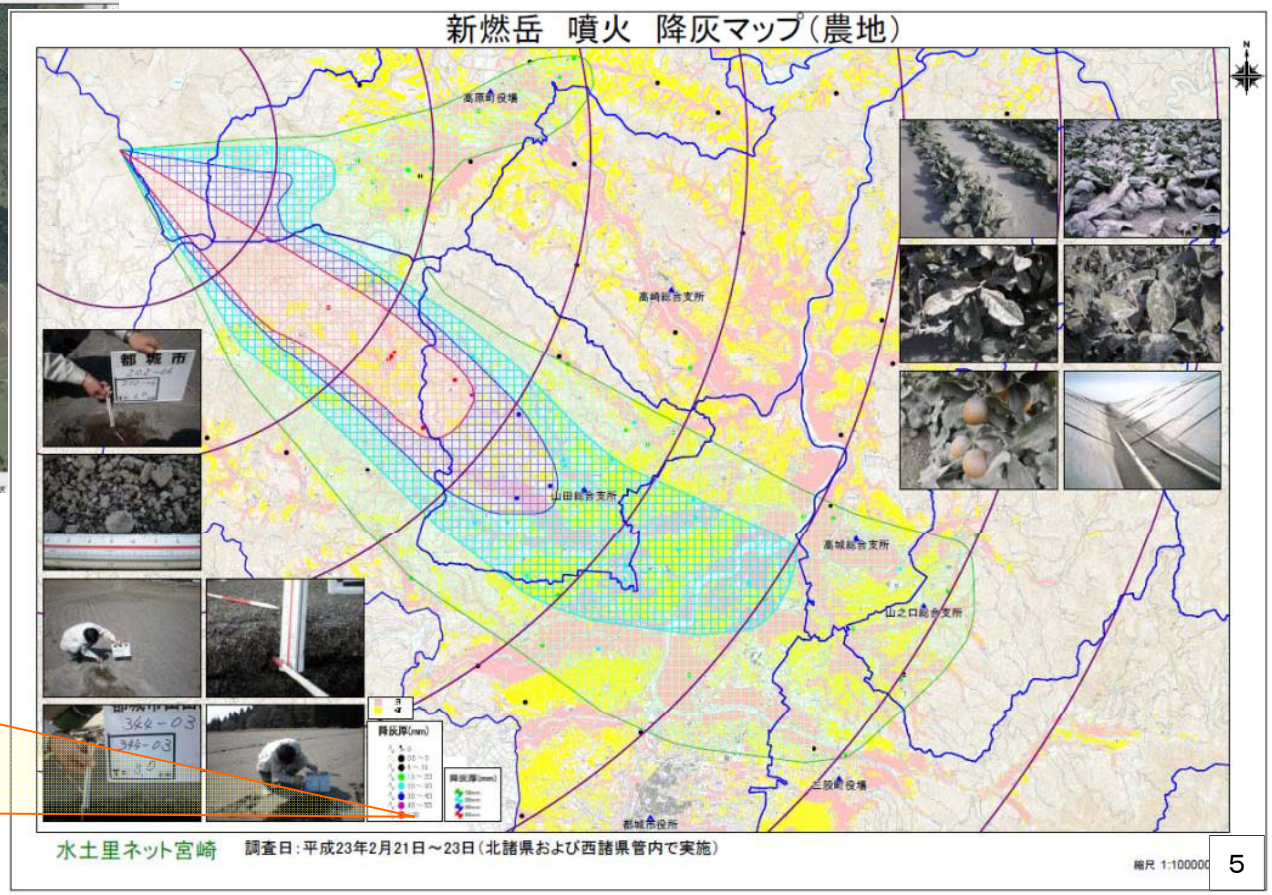
新燃岳噴火に伴う降灰厚調査等への活用(宮崎県)

○ 農地の復旧対策等の基礎資料となる降灰厚マップ作成のため、降灰厚測定地点を効率的に選定可能。
○ また、農地筆図による農地面積等の把握により、被害状況等の確認、復旧対策等の検討など迅速に対応。

[調査地点の選定]

農地地図情報(オルソ、地番情報等)を用いて、降灰厚測定のポイント選定に活用。
これを基に県が現地で降灰厚を測定。



[降灰厚マップの作成]

県が測定した降灰厚を基に県土連が地形図(水土里情報で整備)にプロットし、
降灰厚マップを作成。